

<こども家庭庁補助事業>

令和8年度特定妊婦等支援機関ネットワーク形成事業

実施主体:しゃちネット妊産婦等生活援助コンソーシアム

妊産婦等生活援助事業所を未設置の自治体・団体様へ

妊産婦等生活援助事業所の 立ち上げ・設置をサポートいたします

アドバイザー派遣のご案内

利用料
無料

■<こども家庭庁補助事業> 令和8年度特定妊婦等支援機関ネットワーク形成事業

実施主体:しゃちネット妊産婦等生活援助コンソーシアム nin-con-contact@shachi-net.com

こんな課題、お悩みありませんか？



事業所の委託先の適切な選定方法について知りたい

行政内でなかなか事業を認め
てもらえない



委託費内でできることがわからない

設置に向けて必要なことを具
体的に知りたい



これ以外の多様な課題やお悩みも支援します！

実績ある専門家が個別の課題に 寄り添い支援します

妊産婦等生活援助事業所の立ち上げ・設置促進に向け、実績のある団体
担当者が相談・助言・支援を行います



【実績ある団体の派遣】

派遣されるアドバイザーは実際に事業所の運営団体や設
置支援に実績のある団体の担当者です



【専門的知見に基づく支援】

各アドバイザーが専門的知見・実績に基づいて具体的に
ご支援します



【どんな小さな疑問にも】

「こんな簡単なことでも相談していいの？」から丁寧に対
応いたします



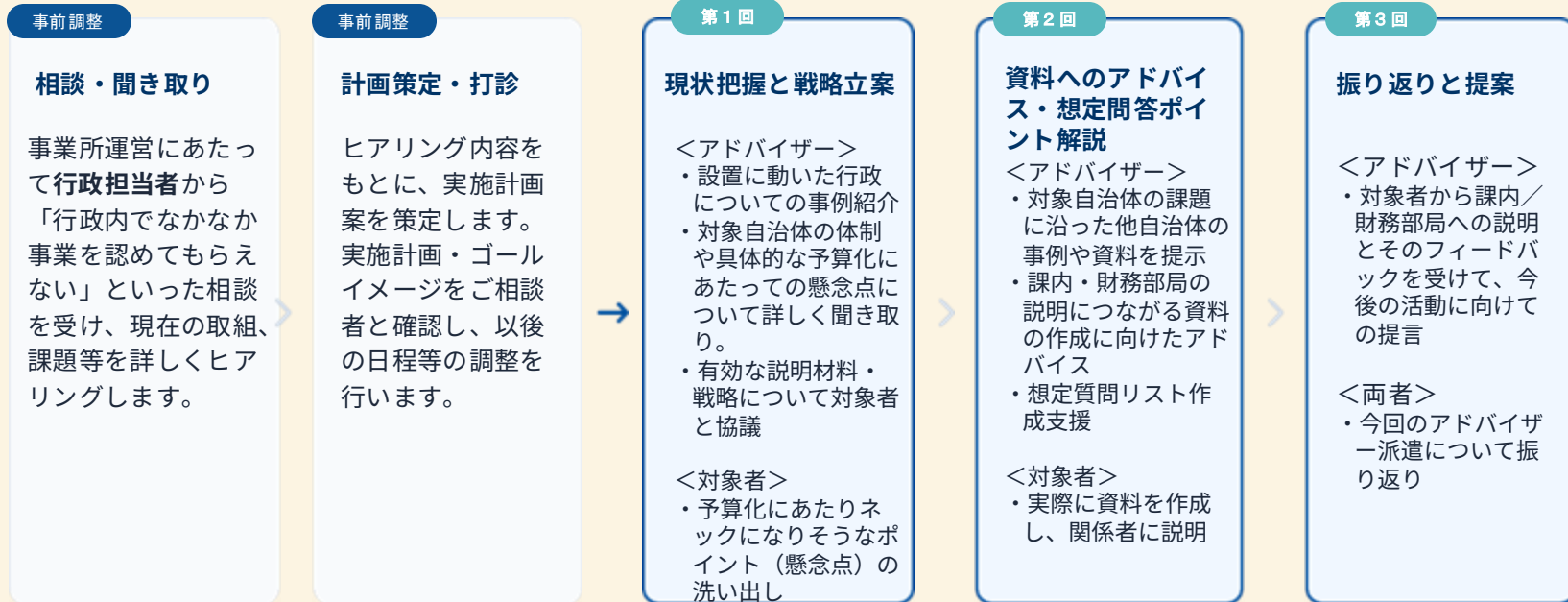
アドバイザー派遣の例 団体ごとの具体的な課題や相談に対応する個別伴走(3回程度)

例えば、

ご相談内容：「自治体の課内／財務部局でなかなか事業を認めてもらえない」「理解を得にくい」

実施内容：他自治体の設置事例（予算化することができた事例を含む）を参考に、担当課内での合意形成から、財務部局の説明材料（想定問答・財源スキーム等）となる資料の作成・説明を支援する。

アドバイザー派遣のゴール：「本事業の重要性や効果について、関係者の理解を高め、財務部局との協議ができる論理（ロジック）を構築し、設置検討へ導く」



アドバイザー派遣の例 団体ごとの具体的な課題や相談に対応する個別伴走(3回程度)

例えば、

ご相談内容：「事業をやりたいが自治体の窓口がわからず、コネクションもない」

実施内容：行政とのコネクションづくり・事業所設置に向けた行政向け「提案書」の作成支援やアプローチ方法をレクチャー。

アドバイザー派遣のゴール：「自治体の担当部署との定期的なパイプを築き、事業所設置にむけた協議が開始できるようにする」

事前調整

相談・聞き取り

民間団体から「事業所を設置したいが自治体の窓口がわからず、コネクションもない。どこにどのような相談や働きかけをしたらよいかわからない」、という相談を受け、現在の取組、課題等を詳しくヒアリングします。

事前調整

計画策定・打診

ヒアリング内容をもとに、実施計画案を策定します。実施計画・ゴールイメージをご相談者と確認し、以後の日程等の調整を行います。

第1回

課題の整理と行政向け提案書骨子作成

<アドバイザー>

- ・設置に動いた行政への働きかけについての事例紹介
- ・行政向け提案書の書き方・アプローチ方法をレクチャー

<対象者>

- ・自治体に関する情報収集、簡単な提案書案を作成

第2回

資料ブラッシュアップ、初回アプローチ

<アドバイザー>

- ・対象者の提案書資料について改善案を提示
- ・自治体へのアプローチ方法をレクチャー
- ・継続的な自治体との連携方法をアドバイス

<対象者>

- ・自治体へアプローチし、団体や事業について説明及び初回ヒアリング。自治体の考えや状況を把握する

第3回

振り返りと提案

<アドバイザー>

- ・アプローチ結果をふまえて、継続的な自治体との連携方法を対象者と協議
- ・今後の活動について提案

<両者>

- ・今回のアドバイザー派遣について振り返り

■アドバイザー団体のご紹介

こどもと女性包括支援センターhalu ここはる(社会福祉法人 豊生会)

当センターは、困難な課題を抱えるこどもと女性への総合支援を目指し、妊産婦等生活援助事業のほか、母子生活支援施設、児童育成支援拠点事業、困難を抱える若年女性支援事業を実施しています。

安心安全な出産までの支援にとどまらず、出産後の養育支援・自立支援まで母子生活支援施設において、きめ細やかな支援を提供しています。事業開始を検討している母子生活支援施設等に対し、立上げ支援から運営体制の整備・人材育成支援まで伴走してお手伝いします。

にんしんSOSほっかいどう サポートセンター(社会福祉法人 妻の子会)

令和3年日本財団の助成で妊娠相談窓口を開設、令和4年北海道の委託で居場所支援を開始し、令和6年より妊産婦等生活援助事業を担っています。これまでに34名が入居し、赤ちゃんが32名誕生しています。実家のように安心して過ごせる居場所として、関係機関と連携し、妊婦さんの意思決定を大切に、生活基盤を整えるためのサポート、またこどもの将来も共に考え、特別養子縁組や里親委託を含めて、退所後の子育て支援も行っています。具体的には、行政との対応のあり方、逆境体験などケアニーズの高い妊婦さんへの理解と対応、電話やSNSでの相談の対応方法、子育て支援のあり方などを行います。

一般社団法人 全国妊娠SOSネットワーク

2015年から活動している団体で、「予期しない妊娠への相談対応研修」や、妊娠相談窓口・妊産婦等の居場所の立ち上げ支援・伴走支援・情報交換会等を行っています。10年間の研修参加者は6,152名で、思いをくみ取り予算取得等の支援を行った妊娠相談窓口の立ち上げ支援等は22カ所、居場所立ち上げ支援等は11カ所に行っています。また、対応する方々の質の向上をはかるアフターフォローや、記録のITシステム化の支援(18カ所)も行っています。

ピッコラーレ (認定NPO法人ピッコラーレ)

2015年以降「にんしんSOS東京」は15,000人以上の相談を受け、面談・同行により母子保健や福祉行政と連携支援を実施。また、制度化以前の2019年より妊婦の生活支援「びさら」を運営。その後のアフターケアまで一気通貫で伴走しています。事業開始に向け、児童虐待や妊産婦支援の課題と支援ニーズを根拠とした事業立ち上げの必要性を自治体に伝えるための資料作成や、現場運営体制の整備、人材育成まで、実践に基づく伴走支援を行います。

小さないのちのドア (公益社団法人 小さないのちのドア)

小さないのちのドアは複雑な課題を抱える妊産婦や小さないのちを守るため2018年に設立されました。初期資金は寄付やクラウドファンディングが主で、行政や政治の場への働きを重ねながら事業を拡大し、現在は公益法人として活動を続けています。予期せぬ妊娠等に関する24時間相談から、居場所提供、自立支援まで一貫した支援を行い、予防的なアプローチとして性教育も積極的に取り組んでいます。開設以来、年間1万件以上の相談に対応し、居住支援では84名を受け入れてきました。複雑な背景を抱えた方々への実践知と、資金調達・行政連携、公益法人化の経験をもとに、設置を目指す団体を支援します。

事業所の立ち上げ・設置促進に関する貴団体の課題をもとに、ご希望のアドバイザー団体をお選びください

ご希望ない場合は、申込時にその旨でご回答ください

アドバイザー派遣概要

【対象】妊産婦等生活援助事業所を未設置の自治体、民間団体(事業所)

【期間】令和8年8月～12月
お申込みは6月15日から受付いたします。
申込締切: **9月15日(火)17:00まで**
初回相談は8月からです。

【形態】個別伴走1～3回程度(組織内勉強会、地域での合同研修会、Q&A等含む)設定可能

【方法】対面・オンライン・電話・メール等ご相談内容・ご要望に応じて設定

【費用】**無 料**

お申込みはこちらから

<https://forms.gle/VfH9QPR39ER5Zqat6>

お申込みいただいてから5営業日以内にご返信いたします。
連絡がない場合は左記のメールにご連絡ください。
迷惑メールに入っている場合もございます。ご確認ください。



アドバイザー派遣の流れ

1

Step1:お申込み

貴団体連絡先、ご相談概要、アドバイスをご希望の団体をご連絡ください

お申込期間: **6月15日～9月15日(火)17:00**

2

Step2:初回相談・ヒアリング・派遣計画策定

日程調整し、担当アドバイザーが貴団体の現状や具体的なお相談内容をヒアリング。派遣計画を策定。

3

Step3:アドバイザー派遣

個別伴走1～3回程度(組織内勉強会、地域での合同研修会、Q&A等含む)設定可能。ご相談内容に応じて設定します。

<ご留意点>

本事業の趣旨に基づき、効果的な支援をさせていただくため、お申込み内容を確認のうえ事務局にて調整をさせていただきます。先着順ではなく、内容や状況によりアドバイザー派遣・担当団体のご希望に沿いかなる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

■<こども家庭庁補助事業> 令和8年度特定妊婦等支援機関ネットワーク形成事業
実施主体:しゃちネット妊産婦等生活援助コンソーシアム
E-mail: nin-con-contact@shachi-net.com